

夢を求めて漁師へ、毎日が新鮮でワクワクします

おがわ かずや

上五島町漁業協同組合 小川 和也さん 19歳

漁業暦 2年

小川さんは、定置網漁業に従事されています。

小川さんは、長崎市蚊焼町出身で、平成三十年四月から上五島町漁協所属の祥福水産の定置網船の乗組み員として従事しています。

長崎鶴洋高校在学中に定置網漁業を体験したことから、定置網漁業をやりたいと思いい、漁業就業支援フェアへ参加しました。そこで漁業体験を受容してくれた川口社長と出会い、漁業に就業することを決め、高校卒業を機に上五島へ移住しました。

就業時間は、一年中、朝5時から午後2時です。夏は夜明とともに、冬場は暗いうちから出港することになります。休漁日の土曜と大時化以外は多少海が荒れても操業があるので大変な所もあるそうですが、船に乗ると「今日は何が獲れるか」とワクワクして、大漁した時は疲れも吹き飛ばすそうです。今年、ブリが干本獲れた時は、大興奮だったそうです。

仕事が早く終わるので、毎日、趣味と実益を兼ねての釣りを満喫しているそうです。今は、水いか釣りにハマっていて、一日に5杯以上釣ることもあるそうです。釣以外にも、サーフィンやスキューバダイビングができる所もあるので、海のレジャーには事欠きません。

上五島と長崎の間には、高速船が一日に何回も走っており、所要時間も1時間半位なので便利です。休日は買い物や友達に会うために長崎市へ帰ることもあります。病院やスーパー、コンビニもあるので生活には不自由しません。自然豊かで温暖な気候、そして美味しい上五島を満喫しています。



小川 和也 さん



経歴

17歳 漁家研修で実際に定置網に触れる

県の高校生就業前研修を活用し、上五島の定置網で一週間研修を受け、漁業就業への思いを強くする

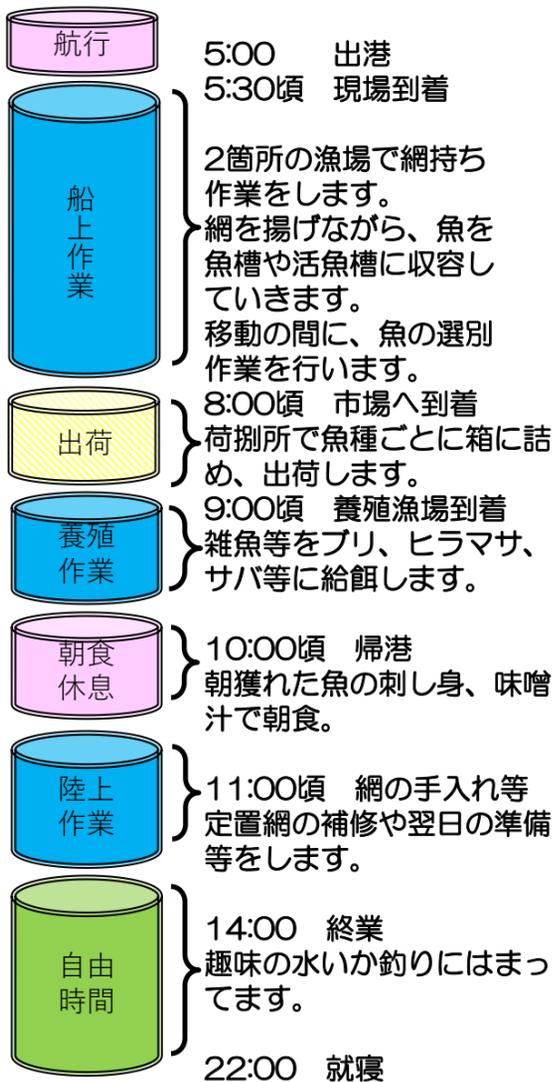
18歳 漁業就業を強く意識

再度、五島の定置網で研修を受け、漁業就業を決意する。福岡の漁業就業支援フェアで現社長と会い、上五島への移住を決意！

18歳 定置網漁業に従事する

卒業後、上五島へ移住し、定置網漁業へ従事する

小川さんのある1日



戦闘準備！



網揚げ作業



高級魚を選別



活かして高値で販売



慣れた手つきで水イカの墨抜き



獲れたばかりの魚を使った朝食

漁業以外の生活の様子

○休日や時化の日は趣味と実益を兼ね水いか釣りを楽しんでいます。

親方の声

島の若者が島外へ出て行く中、逆に本土から来てくれてありがたいと思っています。漁業に対し、想像と現実のギャップに戸惑うこともあると思いますが、仕事を通じてやりがいを感じて欲しい。

漁業就業を目指す方へ

朝早くから作業が始まり、決して楽な仕事ではありませんが、大漁の時や高値で売れた時などは疲れも吹っ飛び、仕事のやりがいを感じています。

漁労技術の習得には時間がかかり苦労しますが、そこを乗り越えれば、自分の努力次第で収入も増え魅力ある職業です。朝が早い分、仕事が早く終わるので、自由時間は長く、余暇は充実しています。

小川さんの本音チャート

